



子どもたちが手洗いをしながら会話が生まれるような、楽しい雰囲気の男女共用の手洗い場。波型にカットされたカウンターが柔らかな雰囲気を演出。

学校トイレの
改修事例

06

岐阜県安八郡安八町 あんぱち むすぶ 安八町立結小学校

性的マイノリティにも配慮、誰でも使える「みんなのトイレ」を全フロア設置

子どもたちからの要望が
トイレ改修を後押し

「トイレの水がなかなか流れません。一生懸命に掃除しても臭い。何とかしてほしいです」

2016年6月、結小学校の6年生の男子児童が「ゆめ会議」で発言しました。「ゆめ会議」は、年に1度、同校の1年から6年までの全クラスの代表と、校長先生、PTA会長が集まって、学校生活をよりよくする話し合いの場。児童の意見に耳を傾け、改善できるところは改善してきました。

結小学校の校舎は1997年に一度大規模改修をしましたが、トイレはほぼ和式のまま20年以上経過。古くておうちトイレが子どもたちの困りごとでした。同校の金森透校長は言います。

「費用がかかることはわかっていますが、子どもたちが困っている以上何とかしてほしいと、教育委員会にお願いに行きました」

学校側の要望で同小学校のトイレを見に行ったのは、教育委員会
の野村あゆみさんです。

「男子トイレでは、『流れない』

『流れが悪い』というシールが半数ほどの便器に貼ってあった。子どもたちは限られた休み時間で使えるトイレを選んでいる状況。これはまずいと思いました」

タイミングよく国の補助金が内定し、トイレ改修が行われることになりました。

「社会科で地方自治など勉強している6年生の子どもたちには、『ゆめ会議』のみんなの意見が町議会で取り上げられ、国の予算も使用してトイレ改修が実現したと話をしました」(金森校長)

「目指したのは、明るくて、きれいで、何の違和感もなく入れるトイレです」(野村さん)

改修に当たり、事前に児童にアンケートを取ると、家庭のトイレの洋式化率が95%以上で、温水洗浄便座の利用率が3割以上。結小学校のトイレも100%洋式化し、温水洗浄便座も設置しました。器具類は改修時点での最新式を選択することに。

「洗浄不良の原因は、圧倒的な水圧不足で、高架水槽をさらに



各フロアに設置された「みんなのトイレ」。跳ね上げ手すりとL型手すりの設置で、車いす使用者に配慮している。



1階女子トイレ。連続洗浄可能なタイプで、次々とトイレが使える。



女子トイレのブースの後方棚には、アクセントにピンクを使って楽しい雰囲気。



トイレ掃除用具入れ。整美委員会の児童と先生と一緒に掃除の仕方を考えた。



男子トイレと女子トイレの間に作られた「みんなのトイレ」。誰でも使えることが伝わるよう、いろいろあるマークや色を検討・協議して選定した。



高くする必要があった。でも費用
がかかりすぎる。水圧が低くても
流れやすい低水圧対応器具に新
しく変えることで、洗浄不良の問
題は解決できました」（大建設計
古川富士雄さん）



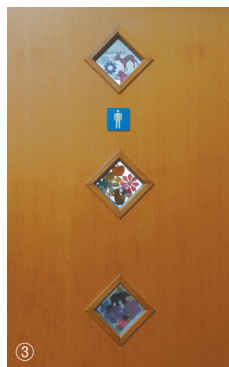
「みんなのトイレ」は男女が一緒に掃除をすることも。



掃除がしやすいように小便器は壁掛け式に。小便器のすぐ下の床には、防汚性に優れた素材を採用。



昇降口には車いすのまま入れるようにスロープを設置。



①洋式便器となり、掃除もしやすい。②女子トイレ内の洗面コーナー。感染症対策として非接触の自動水栓に。角が丸いミラーで温かみのある空間に。③職員用男子トイレのドアは、中が見えないように小窓にフェルトをあしらって。



誰でも使えるトイレに 早くからなりたい

車いすを使用する児童のために、今回の改修では、これまで二つもなかった多機能トイレを全フロアに設置しました。

「エレベーターも設置してもらったので、1フロアだけにあればいい」という考え方もある。でも、トイレは用を足したときにすぐに行きたい場所。移動している間にもらしたりでもしたら、子どもたちにとってよくない。各フロアに必要です」(金森校長)

今後、入学してくるかもしれない性的マイノリティの子どもや、

教育の観点から、「みんなのトイレ」と名づけました。

「このトイレを見たときに子どもたちが『僕もケガしたら使っているの?』と聞いてきました。『当たり前だよ。みんなのトイレって書いてあるでしょ。誰が使ってもいいんだよ』と伝えました」と金森校長。

性的マイノリティでも、そうではなくても、みんなが使っていて、そんな思いが込められています(改修後の児童アンケートの一部を2ページに掲載)。

「小さい頃から誰でも使えるトイレに慣れて、子どもたちが自然と偏見の目を持たなくなればと思っています」(野村さん)

DATA

- 名称: 岐阜県安八町立結小学校
- 所在地: 岐阜県安八郡安八町西結1065
- 児童数: 324名(2018年4月)
- 施主: 安八町
- 設計: 大建設計
- 施工: 不二産業
- 竣工年月: 2017年9月(改修)



男女の洗面コーナーを活用して多機能トイレの場所を捻出。男女トイレへの通路を確保しつつ介助者が入っても、車いすの取り回しができるようスペース取りを工夫した。